

大府市議会議員

大東小学校区 若草町在住

いなば 稲葉ゆかり 活動レポート

vol.10 2025 年 秋号

暑い夏がようやく過ぎ去り、秋の訪れを感じられるようになりました。大府市議会では9月30日に令和7年度の第3回定例会が閉会しました。令和6年度の決算審査が行われ、私が所属する総務委員会所管分についても質疑を重ねた結果、すべての議案・決算認定が可決または認定されました。早いもので、今年も残すところ2か月程となりました。引き続き、今年度の事業の進行状況を丁寧に確認し、市民の皆さまにとって安心して暮らしやすいまちづくりのためにしっかりと取り組んでまいります。

稲葉ゆかり

市民の声が行政に届きました(一例)

交差点の赤塗装と一旦停止線の整備 (大府市桃山町)



新しい市道につながり、
「交通量が増えたが、見通しの悪い交差点…」



行政に素早く対応いただきました

第3回定例会レポート(稲葉ゆかり賛成討論)

【賛成討論】議案第55号

「大府市民活動センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について」

令和8年度から、大府市民活動センターに「ボランティアセンター機能」が加わります。これまで、市民活動を始めるには市民活動センターへ、ボランティア活動をするには大府市社会福祉協議会へと、手続きの窓口が分かれていました。

改正後は、1か所で団体登録や相談ができるようになり、利便性の向上が期待できます。さらに、市の職員が配置されることで、市民活動団体、ボランティア活動団体、自治区やコミュニティなどの地域団体が行政と地域課題を共有しやすくなり、共にまちをつくっていく取組が強化され、今後の大府市の協働のまちづくりの推進に寄与する施設となると確信したため、本議案に賛成しました。

決算認定で質疑した中で、環境保護に大変有意義だと感じた「廃棄物収集処理事業」のご紹介

大府市は、生ごみバイオガス発電施設で生ごみから年間約507万kWhを発電・売電しました。これは約1200世帯(4人家族を想定)が1年間に使用する電力に相当します。ごみの減量と循環型社会の形成に寄与する、とても価値のある事業です。



「178
の日!!」

【継続している活動】雨の日も、雪の日も！勝手に決めた「178の日」毎月下一桁 1のつく日、の朝7時～8時に(1日、11日、21日、31日)大府駅東口を中心に、あいさつ運動とゴミ拾い活動を実施しています。皆様のお声がけ大歓迎です！お困りごとなどもお聞かせください。

大府にこんなすごい人



子ども達がプログラミングを楽しむ場を提供する無料のコミュニティ「CoderDojo大府」の代表河田修さんに、未来を担う子どもたちの学びについてお話を伺ってきました！



稲葉 まずは、CoderDojo大府を始められたきっかけを教えてください。

河田 2019年の初めにCoderDojoの活動を知って、素晴らしい活動だなあと共感しました。地元・大府でも子どもたちが気軽にプログラミングを学べる場をつくりたいと思い、CoderDojo瀬戸のメンターさんの力を借りて2019年の夏にスタートできました。

稲葉 CoderDojoは世界中にあると聞きました。大府と他の地域のDojoが関わる機会はありますか？

河田 CoderDojo JapanというFacebookコミュニティを通して、全国・世界のDojoと関わるができます。定期的に貸し出し用PCや教材を寄付していただくこともあり

全国の仲間と情報共有をしながら運営を続けています。

稲葉 なるほど。CoderDojo大府での活動の特徴はどのようなところになりますか？

河田 各自、来られる日に来て、無料で自由にプログラミングに取り組める場所です。メンターがいるので、わからないことは相談することもできます。

稲葉 子どもたちに、どのような力を身につけてほしいと考えていますか？

河田 自分のアイデアを形にする力、人前で発表する力を楽しみながら身につけていってもらえたら嬉しいです。昨年、第6回マイクラカップに応募し、みんなで協力して試行錯誤しながら1つの作品を創り上げ、全国大会で奨励賞を受賞することができました。仲間と協力して課題を解決する過程を通じて、将来どんな分野でも活かせる「考える力」を育んでほしいと考えています。

稲葉 今後、どのようなことを目指して活動されますか？

河田 『誰もがデジタルに強い大府』を実現したいです。市内に無料

のプログラミング教室をもっと増やして、放課後に気軽に立ち寄れる“子どもたちの居場所”を作りたいです。行政や学校、地域企業とも連携し、地域全体で子どもたちの学びを支える仕組みをつくっていきたく考えています。

稲葉 私も同感です。未来に希望を持って頑張る子ども達と、その子ども達をサポートする河田さんの活動を心から応援します。また、今年のマイクラカップ応募作品も良い評価を得られるよう願っています。ありがとうございました。

皆さまの声



保護者①

今後、子どもにとってITがより必要になると感じるので、時代に即した様々な力を身に付けてほしくて通っています。



保護者②

プログラミングも習得してほしいですが、それに加えて、プレゼンする力、コミュニケーション能力も養えるのが良いと感じています。他のお子さんの発表が聞けるのも勉強になります。



メンター

子ども達はプログラミングで困った時に、自分でネットで調べながら試行錯誤したり、答えを導き出す力を身につけていると感じます。



子ども

中学受験の面接で、マイクラカップ出場に向けて努力した経験を活かして、堂々と発言できました。



稲葉ゆかり後援会へのご入会を随時募集しております！（右のQRコードで公式サイトからどうぞ）
入会時にメールアドレスをお知らせいただいた方には、毎月1日と15日にメールマガジンを配信させていただきます。都度取り組んでいることや思っていることなど、赤裸々につぶやいております。

発行元：稲葉ゆかり後援会（070-9056-1780）

inabayukari.com

